

倉敷昆虫同好会 2023年度夏の例会(案内)

日時 2023年8月27日(日) 13:00 ~ 17:00

開場 12時30分 情報交換など自由にご活用ください。

会場 「はぁもにい倉敷」(倉敷市羽島 666-1 TEL 086-434-9039)

コロナ禍への対応のため、現時点での定員を40名とさせていただきますが、状況を見て柔軟に対応していきます。定員に余裕のある場合、講演会と講習会は市民のみなさんにも開放します。倉敷昆虫同好会 HP や倉敷昆虫館 FB などに参加を募りたいと思っています。

プログラム

1 講演会(50分)未定。

決まり次第、倉敷昆虫同好会HPでお知らせします。

2 講習会(60分) 江頭聖大氏(折り紙作家、本会員)

「昆虫の折り紙教室(仮称)」

倉敷昆虫館において8/11(金)~9/3(日)に江頭氏の作品展示会が行われます。

~ 休憩 ~

3 会員発表「私のオススメの採集地(前半)」(45分)

新しい企画です。従来の「調査・研究発表」は年末例会に統一します。

4 自由懇談(標本自慢や同定、情報交換など)(30分)

5 会員発表「私のオススメの採集地(後半)」(45分)

参加申し込み

8月13日(日)までに同好会事務局へメールか電話で申し込んでください。発表(私のオススメの採集地)を希望される方は、その発表方法もお知らせください。

e-mail kurakon@shigei.or.jp TEL 086-422-8207



注意事項

- ・参加者はマスク着用をお願いします。また事前の自宅での検温で平熱より高い熱がある場合は、参加をご遠慮ください。
- ・終了後の集合写真はコロナ禍の状況を見て判断します。その後の懇親会は今回も行いません。

————— 倉敷市立自然史博物館の催しもの案内 —————

第32回特別展「倉敷市立自然史博物館秘蔵お宝展」

倉敷市立自然史博物館が40年かけて収集した100万点超の收藏品から選りすぐりのお宝資料を一挙公開します。

会期：7月15日（土）～10月9日（月・祝）

会場：特別展示室

料金：通常料金

むしむしサロン

みなさんからの持ち寄りで、生きている昆虫の展示をします。自慢の生態展示セットをお披露目してみませんか？みなさんの展示昆虫をご覧ください。

会期：第1部7月17日（月・祝）～8月11日（金・祝）

第2部8月15日（火）～9月8日（金）

会場：講義室

料金：通常料金

出品希望者の方へ：出品申込み、問合わせは昆虫担当：奥島（Tel 086-441-5376 E-mail musoku@city.kurashiki.okayama.jp）まで。会期中の飼育管理は原則として出品者をお願いします。飼育ケースはお貸しできます。展示昆虫の管理にかかるご来館時は、観覧料金はかかりません。会期中からでも出品できます。

昆虫標本の作り方

初心者向け昆虫標本の一般的な作り方を解説し、実際に作製に挑戦します。

日時：7月15日（土） 9時30分～11時30分、 13時30分～15時30分（受付各30分前～）

会場：講義室

講師：昆虫担当学芸員・むしむし探検隊有志

料金：無料（希望者はテキスト、器具代実費）

持参品：マスク、標本にする昆虫数種類（捕まえた虫は当日まで乾燥しないように冷凍保存してください）テキスト「自然観察のてびき」、昆虫針、まち針数十本、先のとがったピンセット、ハサミ、木工用ボンド、展足板、展翅板、展翅テープ、ティッシュ、筆記用具など。用意できないものは講座

の時はお貸しできるものもありますが、持ち帰りはできません。

定員：各回先着36人、同伴者含む

対象：どなたでも

申込み：6月28日（水）10時30分～7月14日（金）17時に電話で自然史博物館（086-425-6037）へ。

備考：「自然観察のてびき」（480円）は当日販売します。採集用具・標本作製用具のあっせんもあります。

自然の標本なんでも相談会

夏休みの自由研究や日ごろ採集した標本の名前を調べるお手伝いのほか、上手な標本の作り方や保存方法など、標本に関するさまざまな疑問にお答えします。会場では標本作製の実演も行います。見学だけの参加も可能なので、お気軽にお越しください。

日時：8月13日（日）10時～16時

会場：講義室

分野：地学：岩石、化石、鉱物

植物：種子植物、シダ植物、コケ植物、海藻、栽培植物など

昆虫：甲虫、ハチ、ハエ・アブ、バッタ、チョウ・ガ、トンボなど

講師には、昆虫同好会会員がいます。

動物：なんでも

料金：無料

備考：標本には、採集場所・採集日・採集者などを記入したラベルを付けておいてください。動物はお一人につき標本50点までとします。

お問い合わせ・お申込み先

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 TEL 086-425-6037（奥島雄一 倉敷市立自然史博物館）

新刊の紹介

三宅誠治 編集 「岡山県蝶類データ集」

待望の岡山県蝶類データ集 が出ました。私は岡山県のチョウの文献を調べる時、必ず岡山県蝶類データ集で探してからそれに目を通すようにしています。しかし前作に収録されているのは2000年までの記録であり、それ以降は自分で調べなければならなくなりました。このようなことから、私はこの続編を切望していました。

三宅誠治氏の行動信念は「徹底的」ということです。彼は今まで岡山県のいくつかのチ

ヨウの精密な分布図を作成してきましたが、やはりこの「徹底的」という信念で貫かれています。例えばフジミドリシジミでは、県北の中国山地のブナ・イヌブナがありそうな場所を地形図と航空写真で綿密に調べ、そして



6年もかけて現地に足を運びました。その調査ポイントは 174 ヲ所にもおよび、そのうち 144 ヲ所で卵が確認できたのです。その結果は今までの常識を覆すもので、中国山地の奥地ではブナは伐採されずに結構残っており、フジミドリシジミはたくましく命を繋いでいたのです。このようなやり方でベニモンカラスシジミ、ヒサマツミドリシジミ、スギタニルリシジミを発表し、そして現在何種かの調査に取り組んでいます。発表が楽しみです。

話をデータ集にもどしまして、これも彼の徹底ぶりがうかがえます。調べた文献数は気が遠くなるような膨大な数になりますが、実は第 巻発行の後、すぐに次のデータの収集に取り掛かっていたとのこと。そこにも彼の強い執念がうかがえます。サブタイトルに「2001 ~ 2020 年発行分」とありますので、すでに第 巻に向けて 2021 年以降のデータの収集が始まっているのかもしれませんが、発行部数に限りがあり、このチャンスを逃すと未来永劫手に入らない可能性があります。是非ご一考ください。A4 版で 637 ページ。価格は倉昆虫会員に限り送料サービスで本代のみ 6,000 円。申込方法は、miya@tamano.or.jp にメールしてください。(岡野貴司)

倉敷昆虫館から催し物案内とお願い(再)

倉敷昆虫館は重井薬用植物園との共催行事として 2015 年より子どもたちを対象とした昆虫採集会を実施しております。(2018 年からは年 3 回)

この植物園には池、湿地、草原、広葉樹の林などが有り、狭いながらも里山の状態を残した昆虫の生息場所として貴重な場所です。この行事は子どもたちに昆虫の観察や採集を通して自然とのふれあいを経験する貴重な機会となっています。定員は 30 ~ 50 人であり、小学生や幼児などとの親子連れの参加者がほとんどで、近年では申込期間の初日に定員に達し大盛況です。

これら参加者の対応には、これまで同好会からは守安敦氏が 2015 年 ~ 2022 年の毎年、脇本浩氏には 2016 年 ~ 2018 年の 3 年間ご協力いただきました。また、安達由莉、末長

晴輝、水井颯麻の各氏にはそれぞれ1回ずつではありますがお世話になりました。

多数の参加者が園内を分散して活動するため、昆虫館の職員だけでは対応しきれません。同好会員の皆様のご援助をよろしくお願いいたします。

今年の日程は下記のとおりです。(1か月前には植物園、昆虫館のHPで案内をします。) **ご協力いただける方は、1週間前までに昆虫館にご連絡ください。(参加者全員保険加入)**

① 7月15日(土)17:00～21:00「みんなでたんけん!夜の昆虫観察会」

(ライトトラップ用具をお持ちの方大歓迎です)

8月11日(金:祝日)8:00～10:00「夏の!虫をつかまえてみるかい!」

9月23日(土:祝)10:00～12:00「秋の!虫をつかまえてみるかい!」

KURAKON記事募集

連絡紙としての性格上、事務連絡事項を優先しますが、できるだけ自由な記事も掲載することにしております。次のような内容の記事を募っていますので、奮って原稿をお寄せ下さい。「採集記」「昔の産地その後」「会員のWebページやブログの紹介」…自薦他薦は問わず。()昆虫のデータを伴う記述も認めますが、正式な記録としては取り扱わないことにしますので、記録の必要性があるものについては『すずむし』誌上に改めて発表していただくようお願いします。原稿はメールにて倉敷昆虫同好会事務局までお寄せ下さい。E-メール kurakon@shigei.or.jp

2022年度決算報告

収 入			支 出		
摘 要	2022年度	2021年度	摘 要	2022年度	2021年度
繰越金	130,460	132,400	印刷代(すずむし200部) 2	448,140	187,880
会費(101人分) 1	202,000	154,000	通信費(すずむし、KURAKON送料他)	32,928	29,938
すずむし分譲(1部)	2,000	20,000	振込手数料(郵便貯銀行)	5,500	4,950
広告料(倉和会より)	50,000	50,000	事務費(封筒、宛名シール)	5,933	3,172
特別会計より補填	200,000	0	雑費 3	0	0
雑収入(PDF代ほか)	1,200	0			
収入計	601,660	356,400	支出計	490,521	225,940

1:複数年度分納入を含む

2:KURAKONの印刷費は倉和会のご厚意

3:例会会場使用料12500円×2回は特別会計より

収入総額	支出総額	差引残額
601,660円	- 490,521円	= 111,139円(次年度へ繰越)

【切手会計報告】

前年度より繰り越しと2022年度受入	2022年度使用	次年度へ繰り越し
前年度より 10×3枚	1×6枚	1×4枚
寄贈(岡本) 10×7, 50×4, 100×8	10×25	10×35
PDF抽出代として 50×4	50×8	60×29
購入 10×50, 1×10	60×6	
寄贈(重井理事長) 60×35 [未使用昆虫切手]	100×8	

主に郵送に使用(DM便での返送に伴うもの)

【交換文献】

(2023.3.24~6.16受付)

みちしるべ(59)	岡山昆虫談話会
駿河の昆虫(281)(282)	静岡昆虫同好会
ちゃっきりむし(215)(216)	"
大阪市立自然史博物館研究報告(76)	大阪市立自然史博物館
大阪市立自然史博物館所蔵資料集目録(53集) - 四国産蝶類標本目録 -	"
自然史研究 4(6)	"
Nature Study69(4)(5)(6)	大阪市立自然史博物館友の会
広島虫の会会報(61)	広島虫の会
すかしば	山陰むしの会
いずも虫だより(124)	"
山口のむし(22)	山口むしの会
ちょうしゅう便り(43)(44)	"
誘蛾燈(252)	誘蛾会
蛾類通信(305)(総目次)	日本蛾類学会
Mushi Mezuru(54)	鈴木 裕
横須賀市博物館研究報告(自然科学)70号	横須賀市自然・人文博物館

<倉敷昆虫同好会 連絡先> 年会費 2,000円 郵便振替口座 01210-2-6927
 〒710-0051 倉敷市幸町2-30 倉敷昆虫館内 倉敷昆虫同好会事務局
 TEL. 086-422-8207(直通) FAX. 086-421-1991 E-メ-ル kurakon@shigei.or.jp
 開館: 午前9時30分から午後5時まで(13:00から14:00は閉館)
 休館日: 月曜日(祝日・休日の場合は開館し、翌日が休館) 12月29日から1月3日
 倉敷昆虫同好会ホームページ: <https://www.shigei.or.jp/kurakon/>